



令和2年度川俣町立福田小学校学校だより

# しらすぎ Kids NO. 7

令和2年5月25日

文責:校長 神尾孝弘

## 1年生を迎える会 ～温かい気持ちが伝わりました～

5月21日(木)。臨時休業により、延期されていた1年生を迎える会が、ようやく、内容や時間を精選して開催されました。6年生と代表委員会が中心となって企画・運営を行い、全校児童で温かく1年生への歓迎の気持ちを伝えました。

1年生紹介では、自分の好きな食べ物や将来の夢などを大きな声で発表できました。「ぼくは大きくなったら仮面ライダーになりたいです」など、子どもらしい夢のある発表がたくさんありました。

次に、福田小にまつわるクイズが行われました。ウサギの「大福」や学校のシンボルの「しらすぎ」の問題などに、1年生は元気いっぱいに答えていました。6年生の名演技もあり、全校生で楽しいひとときを過ごすことができました。

最後に、1年生からお礼の言葉がありました。そこには、入学式のときより一回り成長した1年生の姿がありました。1年生の嬉しそうな笑顔と、ひとつの行事をやり遂げた上級生の達成感が感じられた素敵な時間でした。



4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期や中止となる学校行事等が相次ぎました。今回、短縮バージョンではありましたが、1年生を迎える会を実施できたことは、子どもたちにとってプラスに作用していく、とても有意義なことであったと感じています。

学校再開に伴い、今後も、感染症対策に十分留意しながら、子どもたちの心身の成長のために教育活動を展開して参ります。引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。



### 【手作りマスクをいただきました】

羽田の菅野和子さんから「福田小の子どもたちのために使ってほしい」と手作りマスクの贈呈がありました。浴衣地やポロシャツの生地等で作ったマスクで、これからの暑い季節にも使いやすいとのことでした。1枚1枚に子どもたちを思う温かい気持ちがこもっています。みんなで有効に使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。

